令和8年度　全国学力学習状況調査から見る本校の傾向と課題

羽曳野市立高鷲小学校
子ども学力部

国語

・本校の正答率は、全国・大阪府平均より下回っています。
・特に『書くこと』の領域において、大阪府平均より大きく下回っています。

【できていること】

・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができています。
・資料を読み取りながら、自分の考えを自由に書くことができています。
・無回答率が全国・大阪府平均より少なく、問題に最後まで挑戦する姿勢が見られます。

【調査から見えた本校児童の弱いところ】

・問題の意図を読み取ることに課題があります。
・複数の資料から必要な情報を読み取ること、複数の情報を関連づけて説明することに課題があります。
・問題の条件に合わせて、150 字程度の文章を筋道立てて書くことに課題があります。

対策

・低学年のときから様々な文章を読み、目的に応じて大切な情報や必要な情報を取り出して考えることを積み重ねていく。
・国語の学習に限らず、他教科においても問われていることを丁寧に確認したり、大切な情報を整理したり積み上げていく活動を行っていく。
・グラフなどの資料を活用しながらデータを正確に読み取り、その結果を考察していく学習過程を大切にしていく。
・グループ、全体などで、自分の意見や考えを述べる活動を取り入れ、意見を整理していく学習活動を取り入れる。

算数

・本校の正答率は、全国・大阪府平均より下回っています。
・「測定」と「変化と関係」、「数と計算」と「データの活用」の領域が、全国・大阪府平均より下回っています。
・選択式・記述式の問題の正答率が、全国・大阪府平均より下回っています。

【できていること】

・数の構成や図形の基礎的な計算分野において確かな力がついており、日頃の授業で取り組んでいる協働的な学びが着実な成果につながっています。

【調査から見えた本校児童の弱いところ】

・数と計算「変化と関係」：割合の視覚的な理解や、複数の資料・表から必要な情報を読み解いて理由を説明する問題に課題が残ります。

対策

・日常生活に結び付けた問題づくりの工夫をおこない、学習の過程の中で図や表を使って考えを説明する場を意図的に設ける。
・思考や発表のテンプレートを活用しながら語彙力や記述力を高めていくことで、情報を読み解き表現する力をより一層伸ばす。

「６年生の児童アンケート」

【良好な結果】

☆　学校の勉強のことについて、親や家族と話している児童が多いです。（府比 13.5↑）

☆　困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる児童が多いです。（府比 9.4↑）

☆　人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多いです。（１００%）

☆　学校に行くのが楽しい児童が多いです。（95.1%　府比 10.6↑）

☆　人と違う意見を言っても否定されないと感じている児童が多いです。（97.6%　府比 23.7↑）

☆　自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している児童が多いです（府比 16.1↑）

☆　課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童が多いです。（90.2%府比 13.9↑）

☆　学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりしている児童が多いです。（97.6%府比 13.2↑）

☆　授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる児童が多いです。（97.5%府比 7.4↑）

【改善が必要な結果】

★　普段（月曜日から金曜日）、１日あたりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか（学習やゲームは除く）という質問に対して、48.8%の児童が「４時間以上」、「３時間以上４時間未満」「３時間以上２時間未満」と答えています。

★　学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますかという質問に対して、46.4%の児童が「ほとんどしない」または「全くしない」と答えています。

★　学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますかという質問に対して、19.6%の児童が「３０分以上１時間未満」または「全くしない」と答えています。